

ポーランドの至宝

レンブラントと珠玉の王室コレクション *Treasures of Poland*
Rembrandt and the Precious Royal Collection



《水盤》
1617年頃 ヴァヴェル城所蔵
Wawel Royal Castle
Photo: Stanislaw Michta

《ジグムント3世の円柱から見たクラクフ郊外通り》
ヘルナルド・ペロト 1767-68年 ワルシャワ王宮所蔵
Warsaw, The Royal Castle Photo: Andrzej Ring



《泉のほとり》
ヘルリク・シェミラツキ 1899年 ヴァヴェル城所蔵
Wawel Royal Castle Photo: Stanislaw Michta



《机の前の学者》
レンブラント・ファン・レイン 1641年 ワルシャワ王宮所蔵
Warsaw, The Royal Castle Photo: Andrzej Ring



《国王ヤン3世
ソビエスキの彫像》
ピエール・ヴァノー
1683年以降
ワルシャワ王宮所蔵
Warsaw, The Royal Castle
Photo: Maciej Bronarski

《国王スタニスワフ・アウグスト・
ポニャトフスキの白鷲勲章の剣》
1764年11月25日以前 ワルシャワ王宮所蔵
Warsaw, The Royal Castle Photo: Andrzej Ring



《エミリア・ヴウオトコフスカの肖像》
ユゼフ・シムラー 1865年 ワルシャワ国立美術館所蔵
Warsaw, National Museum Photo: Teresa Zoltowska-Huszcza

第二次世界大戦後、瓦礫と化したワルシャワ旧市街は民衆の手によって再建が始められ、よみがえった街は1980年「破壊からの復元」が評価された最初の例として世界遺産に登録されました。しかし、その修復作業は今なお続けられているのです。ポーランドの人々は不屈の精神を持っていると言われる理由の一端でしょうが、ポーランド出身のコペルニクスやショパン、キュリー夫人といった偉人の人生を思い浮かべると大いにうなずけます。このようにポーランドには、祖国の文化や芸術を守り、後世に伝えてきた歴史がありますが、そのイメージには原爆の焼け跡から立ち直った私たちの広島とも重なるものが感じられます。

本展では、首都ワルシャワのシンボルであるワルシャワ王宮と、歴代国王の居城であった旧都クラクフのヴァヴェル城から、国宝級の絵画、工芸、彫刻を、また両都市の国立美術館が誇る所蔵品からも、近代への流れを示す19世紀のポーランド絵画が出品されます。

“レンブラントのモナ・リザ”と呼ばれる名画「額縁の中の少女」などレンブラント作品2点は、日本初公開です。また、生誕200年で話題のショパン直筆筆筒をはじめ、コペルニクスやキュリー夫人などポーランド出身の偉人に関連する資料もあわせ、約140点でポーランドの魅力に迫ります。

入館料

	当日	前売／団体
一般	1,200円	900円
高・大学生	800円	600円
小・中学生	600円	400円

※団体は20名以上
※学生券をお求めの際は、学生証のご提示をお願いいたします。(小学生は除く)

前売券発売所／広島県立美術館、チケットぴあ、ローソンチケット、セブン-イレブン、広島市・呉市の主なプレイガイド、画廊・画材店など



◎JR広島駅より約1km ◎広島城より約400m
◎市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白島線で「縮景園前」下車約20m

ギャラリー・トーク

講師：当館担当学芸員
本展会期中毎週金曜日 午前11時～ 3階企画展示室
(本展の入館券が必要です)

よくわかる解説付き鑑賞会

講師：当館担当学芸員
12月18日(土)、19日(日)
いずれも午後2時30分～ 約30分程度 地階講堂
参加者は団体料金でご入館いただけます。

ロビーコンサート(ショパンにちなんだ演奏)

平成22年12月25日(土) 午後5時～ 30分程度
平成22年12月26日(日) 午後1時～ 30分程度
1階メインロビー(無料)
詳しい内容は決まり次第、HP等でご案内します。

トワイライトミュージアム

12月24日(金)は午後8時まで開館
トワイライトミュージアム開催日の午後5時以降は団体料金でご入館いただけます。

広島県立美術館
HIROSHIMA PREFECTURAL ART MUSEUM

〒730-0014 広島市中区上鞆町2-22
Tel.082-221-6246 Fax.082-223-1444
URL <http://www.1.hpam-unet.ocn.ne.jp/>